

第3回 仙北市文化祭

第3回仙北市文化祭が10月27・28日に角館地区(角館交流センター)で、11月3・4日に田沢湖地区(生保内市民体育館)、西木地区(西木温泉クリオンと横の体育館)で、それぞれ行われました。



西木地区会場



田沢湖地区会場

角館地区会場

各会場には、日ごろの

活動成果の絵画や写真、書道、陶芸、パッチワーク、生け花、短歌、俳句、さつきなどが多数展示されたほか、角館地区と西木地区では、芸能発表も行われました。

日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)が東北地域大会

10月20・21日の2日間、日本グラフィックデザイナー協会(JAGDA)東北地域大会in秋田が仙北市を会場に行われ、会員約60人が参加しました。

初日の20日には、秋田内陸線の貸し切り車両をデザイン列車と名付け、角館-阿仁合間を往復する列車のなかで、大会を開催。ゆったりと進む時間のままに「地域づくりとデザイン・無からの始まり」について考え、阿仁合駅では会員がデザインした内陸線の路線図を秋田内陸縦貫鉄道(株)へ贈呈しました。また、2日目には体験型セミナーとして、かたくり館で鎌足和紙の紙漉を実際に体験。その後「デザイナーが語る地域づくり」をテーマに、秋田内陸線活性化についてのセミナーも行われました。



生保内川癒しの溪流フォーラム “癒し空間”としての水辺の魅力再発見!

国土交通省が平成13年から取り組んできた生保内川での「癒しの溪流づくり」が、ほぼ完成に近い形になりました。

また、地元有志のボランティアで、平成17年から「癒しウォーク」「癒しde交流」を行い、毎回100人ほどの参加者があるまでになりました。

これまで国と市民とが連携して行ってきた「癒しの溪流づくり」を、多くの方々に知ってもらおうと「生保内川癒しの溪流フォーラム」



(地元のNPO法人癒しの溪流・里・まちネットと東京のNPO法人新河相学堂の共催、国土交通省・県・市・団体などの後援)が、10月7日、市民会館で開催されました。

フォーラムでは、第1部が基調講演と「福祉と土木」をテーマとしたパネルディスカッション、第2部が札幌市からボランティアで参加した福沢恵介さんによる「福沢恵介の癒しコンサート」が行われたほか、生保内川をテーマにしたオリジナル曲「生保内川恋歌」を披露しました。この歌に魅せられた若い世代の人たちが「ふるさとの歌」にできないかと、情熱を傾けています。

抱返り溪谷・市民会館に3,000人訪れる

10月22日、東北各地からバスツアー客3,000人が紅葉の始まった抱返り溪谷を散策したほか、市民会館では秋田三大盆踊りを楽しみました。

このツアーは、大手旅行会社と観光関係者の協力で行われたもので、抱返り溪谷では色付き始めた紅葉を眺めながら婦人会のみなさんが振る舞うきりたんぼ鍋を味わったほか、市民会館では一堂に集結した「西馬音内盆踊り」「毛馬内盆踊り」「一日市盆踊り」に見入っていました。



第9回全国和牛能力共進会

去る10月11日~14日に鳥取県米子市及び大山町で開催された第9回全国和牛能力共進会に、秋田県代表として仙北市より、種牛の部に高橋芳弘さん「ひらたかよし号」、肉牛の部に伊藤則夫さん「福德勝号」を出品し、全国から選りすぐりの牛たちが出品された中で、高橋さんは2等賞、伊藤さんは優等賞を受賞しました。